

# CASBEE<sup>®</sup> 新築[簡易版]

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	福知山学園(仮称)地域密着型介護老人福祉施設	階数	地上1F
建設地	京都府福知山市三和町千束小字徳右エ門新田824	構造	S造
用途地域	都市計画区域外	平均居住人員	39人
気候区分		年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2011年12月 予定	評価の実施日	2011年3月8日
敷地面積	6,394 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社 ゆう建築設計事務所
建築面積	2,361 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	2,277 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.3**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

### 2-2 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-3 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

**Q のスコア = 3.5**

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
音環境: 3.1	機能性: 4.4	生物環境: 3.0
温熱環境: 2.8	耐用性・信頼性: 3.0	まちなみ・景観: 4.0
光・視環境: 3.6	対応性・更新性: 3.0	地域性・アメニティ: 3.5
空気環境: 4.5		

#### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.0**

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
建物の熱負荷: 3.0	水資源保護: 3.0	地球温暖化への配慮: 3.0
自然エネルギー: 3.0	非再生材料の使用削減: 3.0	地域環境への配慮: 3.6
設備システム効率化: 3.0	汚染物質回避: 3.0	周辺環境への配慮: 3.0
効率的運用: 3.0		

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 自然豊かな立地条件をできるだけ活かし、建物を勾配屋根・平屋建てとして計画し、周囲の景観を損ねないように配慮した。	<b>その他</b> 既存供養塔を移設、広場を併設し、利用者にとって安らぎとなる空間を提供できるように計画を行った。また既存桜並木を保存・活用している。	
<b>Q1 室内環境</b> 各室とも自然換気・自然光を取り入れられるように平面計画を行った。また、庇を設けることで、直射日光をカットできるようにした。	<b>Q2 サービス性能</b> バリアフリーサッシを設け、入居者・利用者の方に屋外空間を容易に楽しめるように配慮した。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 敷地内に利用者用の畑や、鑑賞庭を計画した。
<b>LR1 エネルギー</b> 自然採光・換気・通風が可能な平面計画を行った。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水型衛生機器の採用。屋外散水に井水利用。	<b>LR3 敷地外環境</b> 汚水ポンプ槽設置、近隣施設の浄化槽の負荷も計上。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 ■LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照された